

企画展示2 (小学校～中学校)

～あなたは学芸員！テーマを決めて展示しよう～

G-2
SDGs

【対象】

小学生、中学生
小学生なら高学年から

【時間】

180分
学校なら6時間扱い程度

【会場】新聞博物館

または作業できる広さと机のあるところ
掲示できるスペース

【参加者の持ち物】

筆記用具、色ペンのり、は
さみ など

【準備】

キット 10-1-1 10-1-2 10-1-3 10-2 10-3-1 10-3-2
10-4-1 10-4-2 10-5 10-6 10-7 10-8 10-9
10-10 10-11
1-1 (全国の新聞各紙) 1-2 (学生新聞)
掲示物を作る画用紙・模造紙など
感想交換用の付箋

【講師】

新聞博物館に相談するのも可。
見学して説明を聞くとよい。
学校の場合、講師がいなくても
教員で行うこともできる。

【活動の流れ】 → 裏に

【その他】

小テーマについて、小学生はグループや学級単位がよい。すでに学級や委員会等
で取り組んでいる「SDGs」に関する調べ学習や活動について、校内で展示するとい
う動機付けで取り組むとよい。継続的に取り組んできているからこそ、展示した
い内容があり、どのような展示方法が効果的なのか、展示に対する興味関心
が高まることが期待される。あらかじめ、学校内の展示について調べる中
で、何についての展示かどうい
う展示が見やすいのかを調べて、展示のイメージを膨らませたうえで
テーマを最終決定して、アイデアを出し合ったり、新たに新聞記事や多
様な資料をもとに調べたりしてもよい。

図書資料が多数出版されているので、学校図書館と協力して一緒に展示するとより
効果的になるだろう。(展示に関する図書資料を調べることでイメージがわきやすい。)

【小テーマの例】

- ・学校紹介の中でSDGsに関すること
「校庭の自然」「学校の宝物」「委員会活動」「学校図書館探検」「給食のひみつ」等々
 - ・SDGsに関して学級で取り組んでいること
「ごみ減らし作戦」「省エネに取り組もう！」「人権週間」等
- ※小学生は新たに調べるのではなく、自分たちが実践をしていることや身近なところと
記事を結びつけることで展示のアイデアが具体的に膨らむ。

【 活動の流れ 】

小中学校では、日常的に SDGs の取り組みを行ってきている。
（「総合的な学習の時間」や各教科での学習、学級での当番活動、学校としての委員会活動等）

(1) 「展示」とは何かについて

- ① 展示とは何かについて、いろいろな図書資料や画像等でイメージをつかむ。
- ② 学校の中の展示について調べ、学校図書館の展示についてくわしく知る。

前はスピーチで発信したから、
今度は、学校のいろいろな場所に
展示して知らせよう！

(2) 具体的な企画展示のイメージを持つ。

10-1-1 10-1-2 10-1-3

- ① 新聞博物館を見学
学芸員から展示方法や企画展示についての説明を聞きながら見学。

見学できない場合

・新聞博物館のサイトで展示風景を見る。

[常設展示](#) | [ニュースパーク](#) (日本新聞博物館)
(newspark.jp)

10-1-1 10-1-2 10-1-3

それぞれの小テーマごとにタイトルや解説と記事などを展示してあることを確認

- ② 新聞博物館のサイトで、「これまでの企画展一覧」を見る。

[これまでの企画展一覧](#) | [これまでの企画展](#) | [ニュースパーク](#) (日本新聞博物館) (newspark.jp)

企画展のテーマやタイトルの付け方などを参考にする。
それぞれの企画展をクリックすると、パンフレットや展示風景などが出てくるのでそれも参考にとよい。10-2 10-3-1 10-3-2

- ③ キット 10-1-1 10-1-2 10-1-3 10-2 10-3-1 10-3-2 10-8 を参考に、自分の展示イメージをもつ。

(3) 各自自由に新聞を眺め、自分の取り組みと関係のある SDGs に関する記事を探す。10-5

- ・ 1-1 全国の新聞各紙 1-2 学生新聞キットを使う。
- ・ 自分たちのテーマに関する記事を見つける。
- ・ テーマ以外にも、気になる記事に付箋を貼ってもよい。
- ・ 新聞を持参させて、発展的に記事を見つけられる機会も設けるとよい。

(4) 「私たちの SDGs 企画展」作成 (グループ)

- ① SDGs に関する小テーマを決める。
各自付箋を貼った記事を紹介しながら、あらかじめ考えていたテーマをもとに決定。自分たちの生活と関連付けたテーマにする。
- ② テーマに沿った記事を集める。
* 学校の場合、ここで 10-9 「企画展示計画書」を記入した上で、記事集めの期間を十分に取るとよい。
* 会場でのワークショップの場合、1-1 1-2 を使って探してもよい。
* 学校の場合、学校司書に新聞集めを依頼することもできる。
* 1-1 全国の新聞各紙を使って、日本各地を比較することもできる。
* 長期休業中に新聞から記事を見つけるように意識づけを行う。
- ③ 記事以外の資料を探す。10-4-1 10-4-2 10-6 10-7
図書資料・実物・インタビュー報告・関連施設の紹介・タブレット端末等による施設のバーチャル見学、など、効果的に訴えられるものを一緒に展示する。
- ④ 調べたことをもとに、企画展示計画書を修正、完成する。
- ⑤ 掲示物を作り、展示をする。10-3-1 10-3-2 (10-8 10-10 10-11 も参考に)
見出しを工夫し、記事や展示物の近くに紹介文を書く。※著作権、肖像権に注意する。
壁に掲示、模造紙にまとめる、立体的な展示、写真や具体物展示の工夫をする。

(5) 掲示して感想交換

お互いに見学し、感想を付箋紙に書いて貼った後に意見交換をする。

2時間

1時間

2時間

1時間